

作成日： 2005年04月01日

改訂日： 2021年11月01日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 乳酸カルシウム  
会社名 株式会社武蔵野化学研究所  
本社 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号  
担当部門 品質保証室  
連絡先 電話：03-6810-0241 FAX：03-6810-0146  
整理番号 L03-03

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 区分外  
危険有害性情報  
有害性 目、皮膚を刺激する可能性がある。  
環境影響 本品は、水域環境のBOD・COD増加の原因となる。  
物理的及び化学的危険性 可燃性があるが、爆発性無し。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 単一製品  
化学名または一般名 DL-乳酸カルシウム  
別名 ビス(2-ヒドロキシプロパン酸)カルシウム  
成分及び含有量 乳酸カルシウム 97.0~101.0% (無水物として)  
化学特性(構造式) 
$$\left[ \begin{array}{c} \text{C H}_3 - \text{C H} - \text{C O O} \\ | \\ \text{O H} \end{array} \right]_2 \text{C a} \cdot n \text{H}_2 \text{O}$$

(n = 0~5)  
通常は5水塩 (n = 5)

官報公示整理番号 (2)-1376 (化審法)  
CAS No. 814-80-2 (5水塩：5743-47-5)  
TSCA 登録有り  
EINECS 212-406-7  
輸出統計品目 2918.11-900  
輸入統計品目 2918.11-000

### 4. 応急措置

皮膚に付着した場合 製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。  
眼に入った場合 清浄な水で最低15分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちにはずす。  
吸入した場合 すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。その後医師の手当を受ける。  
誤飲した場合 多量の水、または食塩水を飲ませて、すみやかに医師の手当を受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤 粉末(ABC)消火器、泡消火器  
火災時の特定危険有害性 通常では着火しない。  
特定の消火方法 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護メガネ、作業衣、ゴム手袋またはビニル手袋を着用する。  
環境に対する注意事項 生分解性があり、魚毒性も低いと考えられる。  
除去方法 速やかに粉塵が飛散しない方法で回収する。  
少量の場合は、多量の水で洗い流す。廃液は、適切に処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策	特に無し
注意事項	吸湿性があるので湿気に注意して取り扱う。
安全取扱い注意事項	特に無し

### 保管

適切な保管条件	遮光した密閉容器にて、常温で保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン等の樹脂系容器

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策

取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

### 保護具

保護メガネ、保護手袋（ゴム製等）、作業衣

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

性状 白色の粉末、又は粒で、においがいいか、又はわずかに特異なにおいがある

pH (1→21) 6.0～8.0

物理的状态が変化する特定の温度

引火点 無し

爆発特性 該当せず

### 溶解性

溶媒に対する溶解性 水：4.8 g/100 g(25℃)，187.7 g/100 g(80℃)  
(両データとも5水塩のもの)  
その他：アルコールにほとんど不溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性 安定性あり。ただし、吸湿性あり。

反応性 特に無し

避けるべき条件 裸火、過熱、日光

混触危険物質 強酸化性物質

危険有害な分解生成物 一酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性 LD<sub>50</sub> 140 mg/kg (マウス 静注)

局所効果 データ無し

慢性毒性 ラットに2.5、5%添加飲水を104週間自由摂取で、特異的な毒性病変は見られない。

亜慢性毒性 ラットに0.3、0.6、1.25、2.5、5%添加飲水を13週間自由摂取で、病理組織学的な特記すべき変化はない。

発がん性 ラットに2.5、5%添加飲水を104週間自由摂取で、腫瘍発生に対する影響は見られない。

## 12. 環境影響情報

残留性／分解性 分解性良好

## 13. 廃棄上の注意

多量の場合、産業廃棄物として処理するのが望ましい。少量の場合は、焼却処理する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 特に無し

その他 ・車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。

- ・運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

#### 15. 適用法令

食品衛生法 食品添加物

#### 16. その他の情報

##### 【引用・参考文献】

- 1) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 2) R T E C S (化学物質毒性データ総覧)
- 3) 第8版食品添加物公定書解説書 廣川書店
- 4) 通産省公報 平成6年12月28日

##### 【問い合わせ先】

- ・記載内容の問い合わせ先

株式会社武蔵野化学研究所  
営業本部

電話番号 03-6810-0242

FAX 番号 03-6810-0148

- ・運送中の問い合わせ先

株式会社武蔵野化学研究所  
磯原工場 業務部

電話番号 0293-42-1147(代)

FAX 番号 0293-42-1185

当データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常 of 取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意ください。